

(仮称)やまと芸術文化ホール建設検討業務委託報告書

大和駅東側第4地区市街地再開発事業

施設概略プラン(案)

平成22年3月

大和市

本報告書の内容は、再開発ビルに芸術文化ホールをはじめとした公益施設を組み入れるための可能性を検討したものであり、ここに示された施設構成イメージは、確定したものではありません。

上位計画等における方針、キーワード

◎第8次大和市総合計画

「大和の文化を守り育てる(個別目標)」
「文化の薫りに満ちあふれたまち」
「市民が芸術や文化に触れ、発信することができる環境」
「プロムナードを活かしたまちづくり」

◎大和市文化芸術振興条例

「文化芸術に親しむことのできる環境」
「未来に向け新たな文化芸術を創造」
「継承、創造、発信」「子ども」「多文化共生」

◎都市計画マスタープラン

「にぎわいの拠点づくり」

◎中心市街地活性化基本計画

「プロムナードを中心に回遊性の高いにぎわいともてなしの場」
「市民の暮らしを支える地域に密着した魅力あふれるショッピングゾーン」

◎やまと芸術文化ホール基本構想検討委員会

による提言書に示された基本コンセプト
「感動拠点」「創造拠点」「交流拠点」

◎大和駅東側第4地区の基本方針

「にぎわいと活力のある街づくり」

基本コンセプト

文化芸術活動、生涯学習活動を通じて、大和の未来を担う心豊かな子どもたちとそれを支える人たちが育ち、再開発事業をきっかけに大和の中心となるまちの未来がつけられます。当該施設は、そのための拠点としての役割を担います。

芸術文化ホールを中心に様々な施設を複合させた

『人とまちの未来を創造するやまとの文化芸術拠点』を目指します

個別コンセプト

■1 市民一人ひとりの創造力を高める施設 (キーワード「創造」)

発想・創作・発表などの支援を通して、市民の創造力を高める施設を目指します。

■2 多くの人々が出会い、交流する施設 (キーワード「交流」)

文化芸術活動・生涯学習活動等を通じた市民の交流、市内外との文化交流・国際交流を促進する施設を目指します。

■3 市民一人ひとりに感動を与える施設 (キーワード「感動」)

良質な舞台芸術・美術作品・文学作品等に、市民が平等に触れることのできる施設を目指します。

■4 新たな文化と情報を発信する施設 (キーワード「発信」)

市民の文化芸術活動を発展、活性化し、新たな地域文化と情報を発信する施設を目指します。

■5 大和の中心市街地に、活気(活力)をもたらす施設 (キーワード「活気」)

商業活動などとの連携を図りながら、文化と経済の相乗効果により、人とまちに活気をもたらす施設を目指します。

施設配置の考え方

施設コンセプトに基づいた施設配置のための基本的な考え方です。

再開発ビル全体の考え方

再開発ビルは、大和の新たな魅力とイメージを形成し、大和駅周辺のまちづくりを先導するとともに、市民はもとより市外の人々も惹きつけるシンボリックな施設として整備します。

具体的には、文化芸術の持つ創造力、集客力、発信力等に着目し、文化芸術振興の拠点となる芸術文化ホール、市民の学習・創造活動を支援する生涯学習センター、図書館を配置します。さらに、日常的に人々の往来が期待できる商業施設等を併設し、開放性の高い空間を創出します。

各施設配置の考え方

(1) 芸術文化ホール

客席数については、市民の文化芸術活動の発表を第一に考え、中規模とします。座席は可動式とし、コンベンションホールとしての機能も備えるものとします。また、市民の作品などが展示できるギャラリーを併設するものとします。

(2) 生涯学習センター

既存の施設を移転するものとします。ただし、ホールの付帯施設（練習室等）と機能が重複する諸室については、施設全体の中で効率的に配置を行うこととします。

(3) 図書館

既存の施設を移転するものとし、市民が気軽に立ち寄ることができるよう、低層部に配置することとします。閉架書庫は地階に配置することとします。

(4) 商業施設

プロムナード沿いの商業施設との連続性を確保するために、通りに面した低層部に配置します。

(5) その他

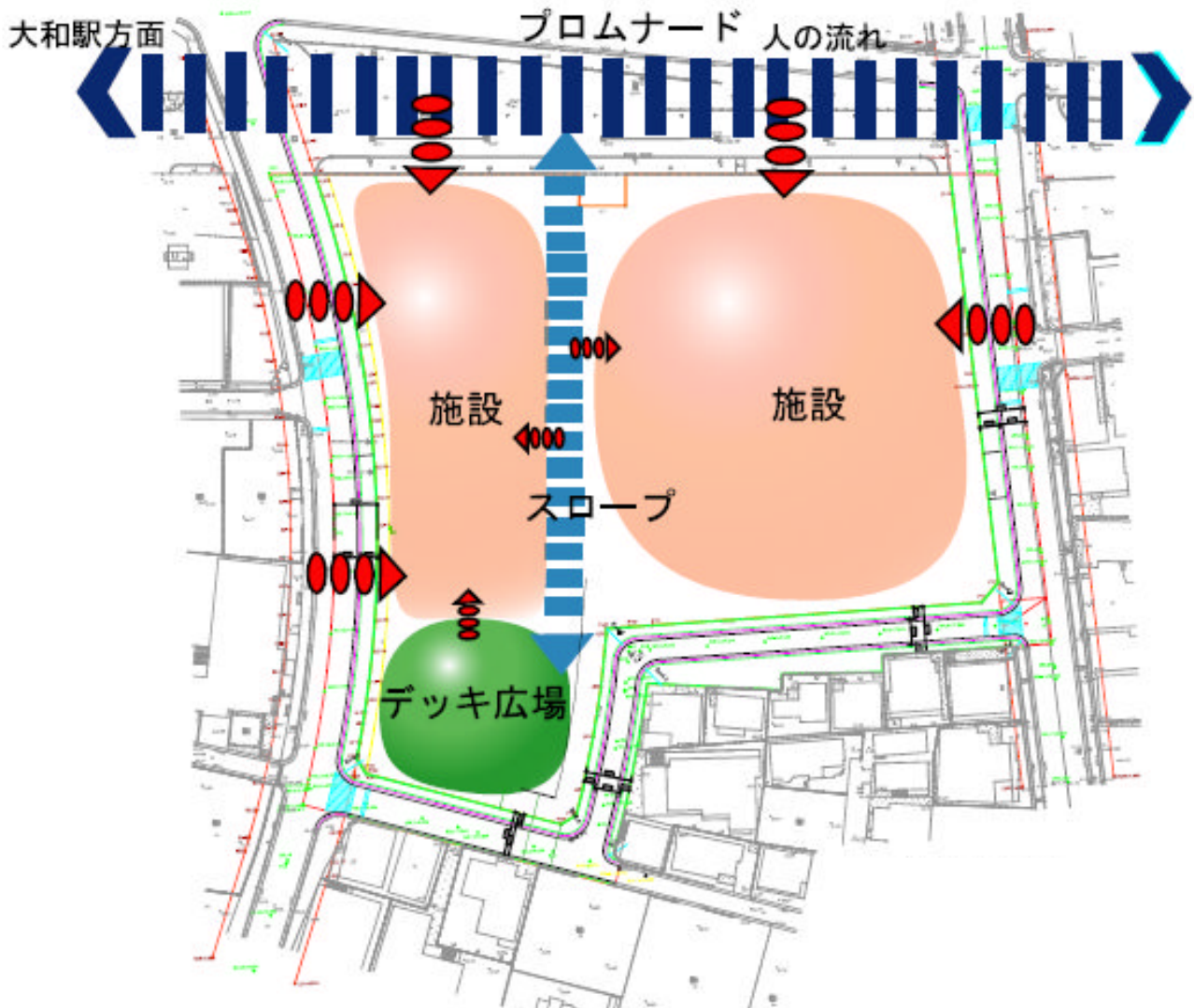
市民の利便性を向上させる観点から、市民課連絡所を移転します。

すべての人が利用しやすいように、ユニバーサルデザインの視点に配慮した施設とします。

個別コンセプトと対応する施設（主な機能）

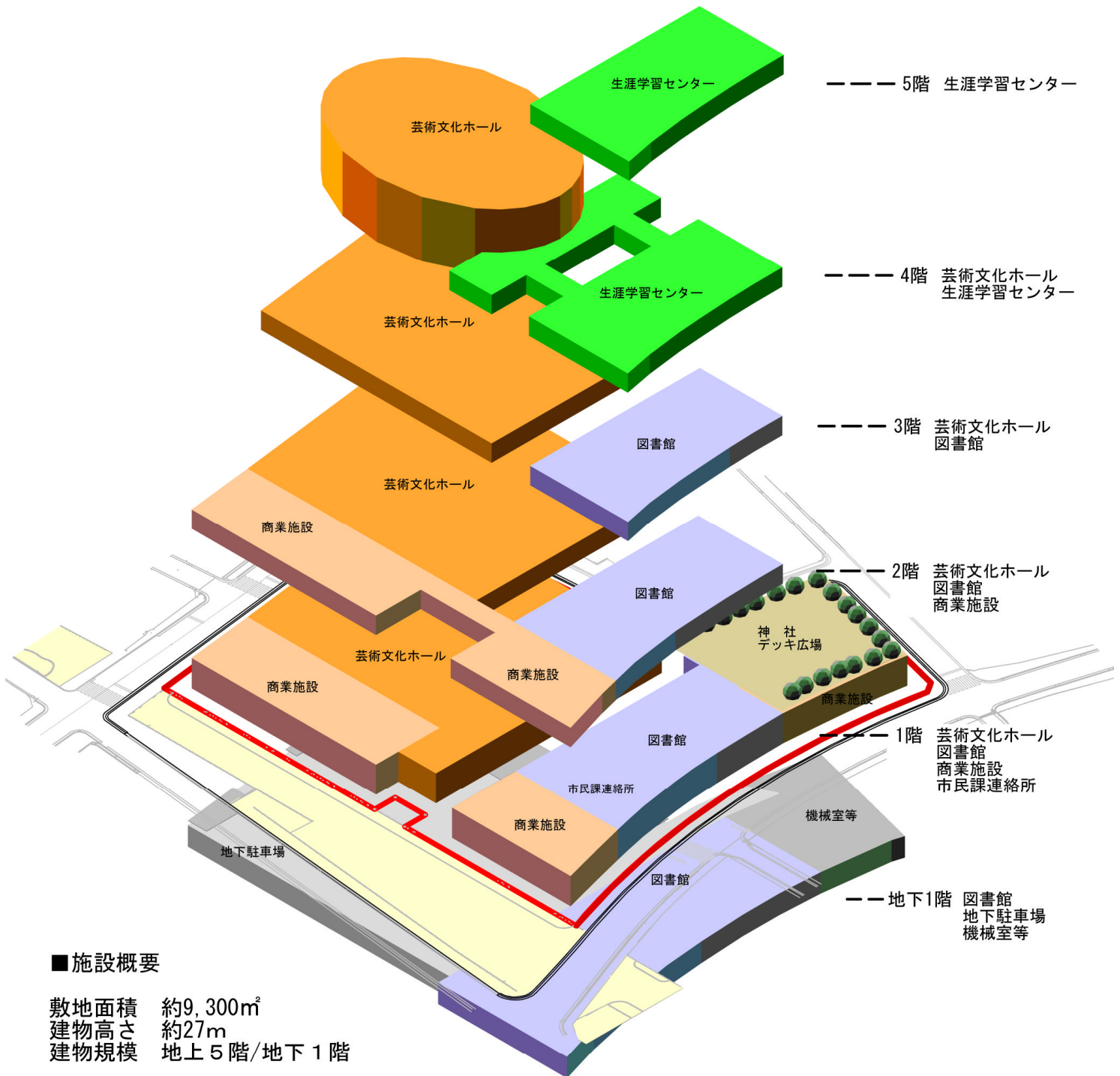
「創造」	芸術文化ホール、ギャラリー、生涯学習センター
「交流」	芸術文化ホール、コンベンションホール、生涯学習センター、商業施設
「感動」	芸術文化ホール、ギャラリー、図書館
「発信」	芸術文化ホール、ギャラリー、図書館
「活気」	施設全体

施設の基本構成（案）



再開発ビルには、芸術文化ホールをはじめとして複数の公益施設が入ることになることから、基本コンセプトである「文化芸術拠点」としての顔づくりと、それぞれの施設へのアプローチのしやすさから、スロープを中央に配置する構成とします。

施設構成イメージ（案）



■施設概要

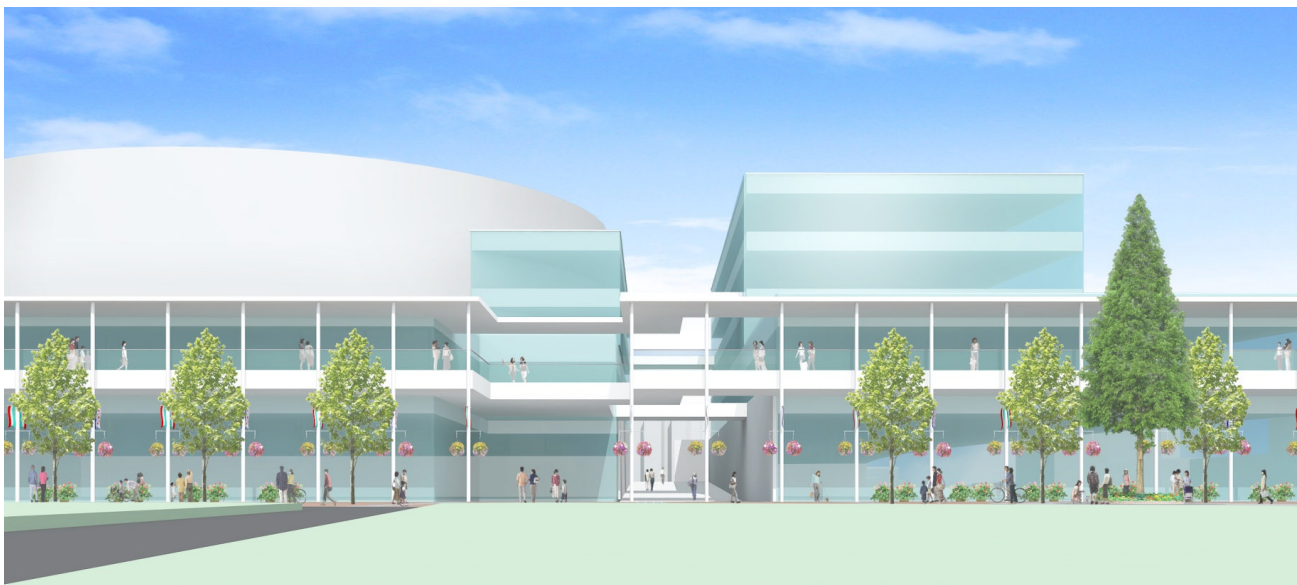
敷地面積 約9,300m²
 建物高さ 約27m
 建物規模 地上5階/地下1階

■概算床面積

用途	概算面積
芸術文化ホール	7,000
生涯学習センター	2,600
図書館	5,700
市民課連絡所	100
地下駐車場	3,900
商業施設	3,400
全体共用	2,000
合計	24,700



【参考】施設イメージパース



プロムナードより施設を望む

概算資金計画（案）

施設構成イメージ（案）を想定した概算資金計画です。

【再開発事業の概算資金計画】

支 出		収 入	
項 目	額	項 目	額
建設工事費 ※1	約 75億円	補 助 金 一般会計補助金 公共施設管理者負担金 道路整備費 等	約 11億円
補 償 費	約 27億円		
調査設計費、事務費等	約 13億円		
土地・公共施設整備費等	約 5億円	保留床処分金 ※2	約 109億円
合 計	約 120億円	合 計	約 120億円

※1 建設工事費の内訳

施設用途 (床面積)	ホール (7,000 m ²)	生涯学習センター (2,600 m ²)	図書館 (5,700 m ²)	市民課連絡所 (100 m ²)	駐車場 (3,900 m ²)	商業他 (3,400 m ²)	合計
m ² 単価	約 55 万円	約 23 万円	約 24 万円	約 20 万円	約 21 万円	約 26 万円	—
工事費	38.2 億円	6.0 億円	13.6 億円	0.2 億円	8.1 億円	8.9 億円	75.0 億円

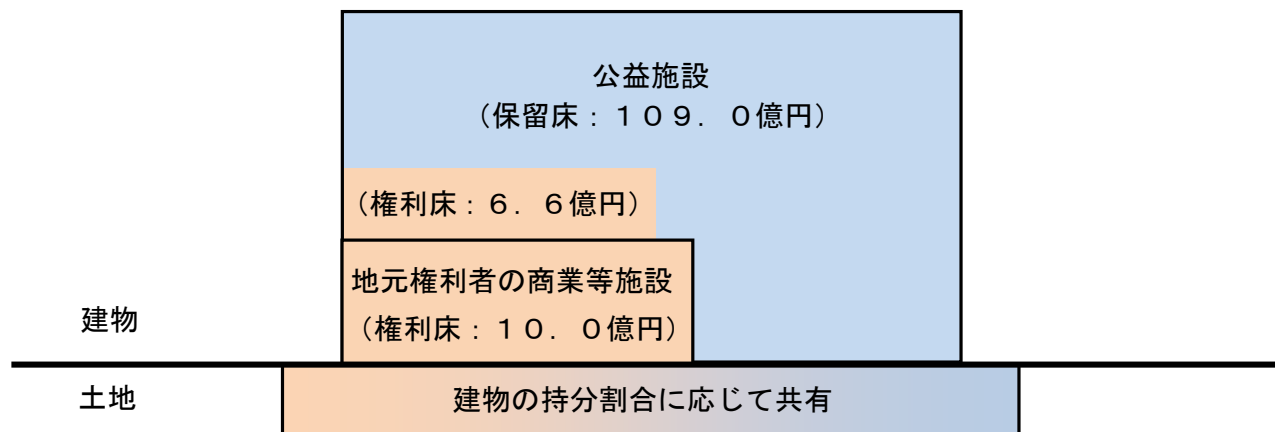
○上記以外に共用部分（2,000 m²）がありますが、この工事費は各施設に按分しています。

※2 床価格の内訳・市が公益施設を取得するために必要な床価格

所有者	大和市					地元権利者	合計
床価格 (A)	ホール	生涯学習センター	図書館	市民課連絡所	駐車場	商業他	125.6 億円
	67.4 億円	11.2 億円	25.2 億円	0.5 億円	11.3 億円	10.0 億円	
	115.6 億円						
権利床 (B)	6.6 億円					10.0 億円	16.6 億円
保留床処分金 (A-B)	109.0 億円					—	109.0 億円

○権利床：市及び地元権利者が保有している従前の資産に相当する床

○保留床処分金：市の従前所有していた資産分に応じて、取得できる市権利床分を差し引いた額



事業スケジュール（案）

